

## にいがた庭園街道ネットワーク設立 5 周年記念事業

### 「にいがた庭園セミナー」開催報告

にいがた庭園街道とは、新潟県の代表的な豪農、豪商、町屋、寺院などの日本庭園と伝統建築が集中している全長約 150 キロの街道です。この庭園を中心とした施設・周辺の温泉宿・地域の観光協会などが連携して広域連携型の活動を始めて 5 年になります。

私たちは、新潟県が誇る「日本庭園」、「伝統建築」、「日本の原風景」、泉質の異なる「温泉」が織りなす本物の魅力を、国内外に広く発信し観光振興を図り、新潟県が輝くための活動をしています。

セミナーは、令和 6(2024)年 11 月 12 日(火)、「北方文化博物館」(新潟市江南区)で開催しました。通常は立入禁止の北方文化博物館の大庭に入り、庭園の魅力を解説すると共に、この庭の作庭師「故・田中泰阿弥」の最後の弟子「小池勝榮」氏から、作庭時の想いと思いを語って頂き、定員 40 名を超える 45 名の参加者から高い評価を頂きました。

#### ● にいがた庭園街道「エリアマップ」



#### ● ①「日本庭園」、②「伝統建築」、③「日本の原風景」、④「温泉」の4つの誇り(魅力)



## 1. セミナーの概要

### (1) ねらい等

- ① 会場（北方文化博物館）の通常立入禁止の庭園内に入り案内・解説を行い、この庭を造った庭師「故・田中泰阿弥」の最後の弟子「小池勝榮氏」（前作事頭）から、作庭時の想いと思いを聞きました。
- ② 併せて、日本庭園等の基礎的知識を解説すると共に、この地に「なぜ、多くの日本庭園と伝統建築が残っているか？」の歴史的背景等を紹介することで、庭園と地域を重層的に理解して頂き、今までとは異なる方々にも情報発信を行い、新規ファン層の掘起しと、「にいがた庭園街道」への来訪を促す。



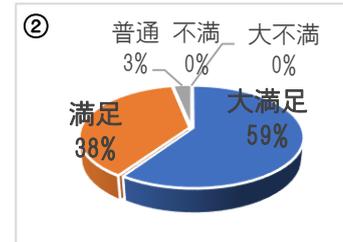
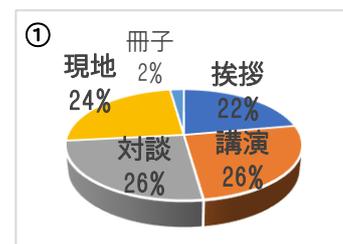
役員7名で会場を設営



会場全景

### (2) セミナーの実施内容が高く評価(アンケート結果)

- ① セミナーの内容については、「講演と対談」が26%、「現地(庭園内)説明」が24%、「挨拶の内容」が22%の高評価。更に、配付資料(冊子、レジメ)が分かり易く今後の参考になると喜びの声。
- ② セミナーの満足度合いも、「大変満足」が59%、「満足」が38%、「普通」が3%と高い評価。



### (3) 今後の課題

- ① 参加者は「女性」が多く74%、年齢も「60代と70代以上」が74%で、今後、若年層への関心や参加を促す工夫が必要。
- ② 年配者を大切にしつつも、いかに若年層への関心度を高めていけるかの工夫・企画等が課題。

## 2 セミナーの主な内容

### (1) あいさつ

#### ①「吉川真嗣」にいがた庭園街道ネットワーク代表

- ・「にいがた庭園街道」を構想した契機は、観光人気ランキングの低さに加え、観光関係者から「下越地区(新潟県の北部エリア)に至っては観光の不毛地帯であり、お荷物」、との事実を知り愕然としたことである。
- ・そこで「新潟の魅力は？」と調べていったことが、庭園街道の構想を思い付くきっかけとなり、自らの目で見て感じた「庭園」、「伝統建築」、「日本の原風景」、「温泉」の4つの要素をつなぎ、「にいがた庭園街道」と銘打ち、広域の活性化の取り組みをスタートさせた。
- ・新潟は実は「庭園王国」で、庭園と伝統建築が往時のままセットで残っている稀有な地です。
- ・これは、大地主が金にあかした庭園でなく、飢饉や大災害などの折に「造園」という仕事を作ることで民を助ける「救民救済事業」として造られた経緯が有り、先人の尊い心意気と熱い思いもあわせて伝えていきたい。



吉川代表あいさつ

② 来賓:「神田勝郎」北方文化博物館(旧伊藤家)館長

- ・ 7代目文吉氏の時に当館を個人の持ち物ではなく、博物館にして後世に伝えようと、全ての財産を寄付され財団法人に移行し、現在の北方文化博物館になった。
- ・ 文吉氏は田中泰阿弥氏に三顧の礼を尽くし、庭園を造った泰阿弥は「命がけてこの庭を作ります」と句碑を残した。7代と8代の熱い思いがこもった庭園です。



神田館長あいさつ

③ 来賓:「太田秀也」(一財)国土計画協会専務理事

- ・ 5年前から協会として、(にいがた庭園街道の)ご支援をさせて頂いている。
- ・ 立派な活動をされていて、(今回のセミナー支援は)4~5倍という競争率の非常に高いところをかいくぐられて、ご支援に至った。立派な取り組みなので、引き続きご支援をさせて頂く。



太田専務理事の来賓挨拶

(2) 講演:「庭園誕生の歴史的背景と庭園の基礎知識」=平原悟事務局長

【講演の内容と要点】

① 新潟県は、隠れた「庭園王国」です!?

- ・ 東日本エリアで新潟県の「国指定の名勝・『庭園』」の数は、東京都に次いで2番目/全国6位。

② その誕生の歴史的背景は…

- ・ 越後(新潟)平野の成り立ち=窪んだ地形 ⇒ 「開墾・干拓」の水との闘い ⇒ 「千町歩地主」の思い=「窮民救済事業」(=邸宅建築、造園等)を行った。

③ 日本庭園とは…

- ・ 日本庭園の「3様式」と「4要素」を説明・解説。
- ・ 日本庭園の見方など ⇒ 「庭園に込めた思い」を読み解く、ビューポイント、見学マナーなど。



平原事務局長の「講演」

(3) 対談:「庭師・田中泰阿弥の想いと思い出」=小池勝榮前作事頭 対 平原事務局長

- ① 泰阿弥と一緒に仕事した場所(庭園)などは?
- ② 泰阿弥の仕事へのこだわり(仕事ぶり、仕事の仕方)などは?
- ③ 伊藤家(北方文化博物館)の庭にかけた、泰阿弥の想いとは?
- ④ 泰阿弥の人物像(人となり)は?泰阿弥に対する思い出は?



小池氏と平原事務局長の「対談」

(4) 現地「大庭」内での説明会=田中茉莉恵主任学芸員、小池勝榮氏、平原



庭園内を  
巡る参加者



庭園内での案内・解説(田中さん/小池氏)

にいがた庭園街道ネットワーク事務局

